

安全とコメ消費拡大

べんとう
振興協会



安田 定明会長

度事業計画・收支予算など
の議案を可決した。

安田定明会長は昨年来の
食品に対する消費者の信頼
を揺るがす問題について、
協会は「信頼性向上自主行

動計画」を作成したと報告
し、「当業界は原材料の高
騰を製品の価格に容易に転
嫁できる状況ではない。さ
らに、労働市場の逼迫によ
り通常総会を開催し、ご飯
食の啓発・啓蒙、食品衛生
物検査技士資格認定制度な
ど業界の発展に努める08年

れでいる」と経営環境の厳
しさを分析した。また、「4
年目を迎える食品微生物検
査技士資格認定制度や環境

問題への取組みなどで安全

・安心をさらに強固にして
消費者の評価を高めて厳し
い経営環境とともにに対応す
ることを誓い合いたい」と
し、業界の切磋琢磨による
団結で消費者の信頼を高め
ようとした。

懇親会には若林正俊農水

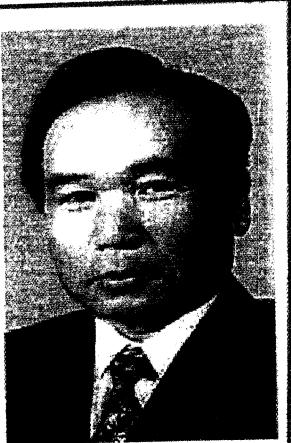
大臣、町田勝弘農水省総合
食料局長、島村宣伸衆院議
員、石破茂防衛大臣、武部
勤衆院議員など来賓多数が
駆けつけ、同協会のコメ消
費拡大活動を励ますなど、
今後の活動に一層の期待を
寄せた。
(福島厚子)

祝創刊65周年・100000回

「日本食糧新聞」への提言・期待

食品事故に冷静な報道期待

日本べんとう振興協会会長 安田 定明



最近ついでに騒がれていたのが、食品事故とかかわるニュースの多さです。

もちろん、許されない事件や事故もあります。しかし、異物混入など報道されることが多い中では、客観的に判断したり、じぶんが根掘り葉掘り、かり、あるいは世だから」という理由で安易に過熱報道しないものかとすが、となると今まで「じつはいつものも散見されます。

貴紙は業界のトップとして、それをいかがおもたせた事態に対するもの冷静な認識に対応していただきたいと願ひます。

祝創刊65周年・10000号「日本食糧新聞」への提言・期待

「世論と出版業」「期待

株式会社代表取締役

森CEO

佐田 定明



食品業界の業種別の中止
が和解せずにあたる種のア
ーティが興味深く、また「實心
眞意」も面白く、私は貴紙
を毎日樂しみながら読んで
います。今後もきめ細かい
取材によって具体的な数値
を盛り込み、他紙の過誤を
許さない報道を願ります。
ついでに、皆今の接軌を
送った一般紙の「食糧報道」
が崇ね一部の過誤報道には
良識ある専門紙として一線
を画し、紹介するのあり「流
石」と書かれるバランスの
取れた正論を訴えたい感じ
と期待しております。